

四半期報告書

(第66期第3四半期)

小野薬品工業株式会社

E 0 0 9 4 5

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

小野薬品工業株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	8
1 【株式等の状況】	8
2 【役員の状況】	9
第4 【経理の状況】	10
1 【四半期連結財務諸表】	11
2 【その他】	17
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	18

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年 2月13日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 小野薬品工業株式会社

【英訳名】 ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 相 良 暁

【本店の所在の場所】 大阪市中央区道修町二丁目1番5号
(上記所在の場所は、登記簿上の本店所在地であり、事実上の本社業務は、大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号において行っております。)

【電話番号】 大阪(06)6263局5670番

【事務連絡者氏名】 経理部長 伊 藤 雅 樹

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田須田町二丁目5番地

【電話番号】 東京(03)5296局3711番

【事務連絡者氏名】 東京第一支店 業務課長 伊 藤 正 雄

【縦覧に供する場所】 小野薬品工業株式会社東京支社
(東京都千代田区神田須田町二丁目5番地)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	112,369	112,922	145,393
経常利益 (百万円)	31,303	26,093	33,953
四半期(当期)純利益 (百万円)	20,941	18,395	24,120
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	23,360	30,867	41,424
純資産額 (百万円)	405,229	435,044	423,290
総資産額 (百万円)	433,727	473,796	455,572
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	197.53	173.52	227.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	92.7	91.1	92.2

回次	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	93.09	77.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容について重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間において、韓国小野薬品工業株式会社を設立したことにより、1社を連結の範囲に含めております。

この結果、平成25年12月31日現在では、当社グループは、当社と連結子会社5社、持分法を適用した関連会社2社を合わせた8社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

・技術導入契約等

会社名	契約先	所在地	契約内容	対価の支払	契約締結年及び契約期間
当社	バリエント社	アメリカ	メチロシンに関する技術	契約一時金 ロイヤルティ	2013.10より、 データ保護期間

・販売契約

会社名	契約先	所在地	契約内容	契約締結年及び契約期間
当社	アストラゼネカ社	イギリス	ダバグリフロジンに関する コ・プロモーション	2013.12より、発売後12年間、 その後2年毎の自動更新

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における業績につきましては、以下の通りとなりました。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	112,369	112,922	+552	+0.5
営業利益	28,872	23,303	△5,569	△19.3
経常利益	31,303	26,093	△5,210	△16.6
四半期純利益	20,941	18,395	△2,545	△12.2

[売上高]

売上高は前年同期比5億5千2百万円（0.5%）増加し1,129億2千2百万円となりました。

- ・講演研究会、説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進め、主要新製品の売上増加により、増収となりました。
- ・主要新製品はそれぞれ売上进行を伸ばし、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は288億円（対前年同期比+7.5%）、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は81億円（同比+43.6%）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」「プロイメンド点滴静注用」は合わせて67億円（同比+8.4%）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は47億円（同比+64.5%）となりました。

- ・主な長期収載品は、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は256億円（同比△4.6%）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は97億円（同比△13.9%）、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は58億円（同比△17.8%）となりました。

[営業利益・経常利益]

営業利益は前年同期比55億6千9百万円（19.3%）減少し233億3百万円、経常利益は前年同期比52億1千万円（16.6%）減少し260億9千3百万円となりました。

- ・売上原価は前年同期比8億3千万円（3.2%）増加し265億7千5百万円となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、前年同期比52億9千2百万円（9.2%）増加し630億4千2百万円となりました。
- ・研究開発費はライセンス費用の増加などにより前年同期比37億9千2百万円（11.7%）増加し362億4百万円となりました。

[四半期純利益]

四半期純利益は前年同期比25億4千5百万円（12.2%）減少し183億9千5百万円となりました。

- ・特別損益は当第3四半期連結累計期間において、投資有価証券売却益などを計上していないことから、前年同期比2億7千1百万円減少しました。
- ・法人税等は、税金等調整前四半期純利益の減少と試験研究費の税額控除拡大により、29億4千1百万円減少し75億5千4百万円となりました。

なお、当社及び関係会社の事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	455,572	473,796	+18,223
純資産	423,290	435,044	+11,753
自己資本比率	92.2%	91.1%	—
1株当たり純資産	3,961.55円	4,071.21円	+109.66円

総資産は、182億2千3百万円増加して4,737億9千6百万円となりました。

流動資産は、売上債権が増加したものの現金及び預金、有価証券の減少などにより12億2千7百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加などにより194億5千万円増加しました。

負債は、長期繰延税金負債の増加などにより64億6千9百万円増加し、387億5千1百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより117億5千3百万円増加し、4,350億4千4百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は362億4百万円であります。

なお、開発品の進捗状況については以下の通りです。(平成26年2月4日現在)

1. 国内開発品状況

<承認取得開発品>

製品名／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	
注射用オノアクト50 ^{※1} (ONO-1101)	効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 ／ β_1 遮断作用(短時間作用型)	注射	自社

平成26年3月期第2四半期決算発表(平成25年11月5日)時点からの変更点

※1:「注射用オノアクト50(ONO-1101)」は、「心機能低下例における頻脈性不整脈(心房細動、心房粗動)」を効能・効果とした製造販売承認を取得しました。

<申請中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	
グラクティブ錠 (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2型糖尿病(速効型インスリン分泌促進薬 との併用療法) ／DPP-4阻害作用	錠	共同 (米メルク社)
オパルモン錠 (OP-1206・ α -CD)	剤型変更	閉塞性血栓血管炎、腰部脊柱管狭窄症 ／血管拡張作用	錠	共同 (大日本住友製薬)
ONO-4538 ^{※1} /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	注射	自社

平成26年3月期第2四半期決算発表(平成25年11月5日)時点からの変更点

※1:抗PD-1抗体「ONO-4538」は、「悪性黒色腫」を効能・効果とした製造販売承認申請をしました。

<臨床試験中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード／一般名	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847) /MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 ／ニューロキニン1受容体拮抗作用	Ⅲ	注射	導入 (米メルク社)
リバスタッチパッチ (ONO-2540) /ENA713D	用法変更	アルツハイマー型認知症 ／コリンエステラーゼ阻害作用	Ⅲ	経皮 吸収剤	共同 (ノバルティス社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	自社
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	若年性特発性関節炎 ／T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	ループス腎炎 ／T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔／GABA _A 受容体作動作用 (短時間作用型)	Ⅱ/Ⅲ	注射	導入 (パイオン社)
ONO-7165 /EMD531444	新有効成分	非小細胞肺癌 ／腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	Ⅱ	注射	共同 (独メルク社)
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-3849 /Methylnaltrexone bromide	新有効成分	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘 ／μオピオイド受容体拮抗作用	Ⅱ	注射	導入 (プロジェニックス社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質／グレリン様作用	Ⅱ	錠	導入 (ヘルシン社)
ONO-4538※1 /BMS-936558	新有効成分	食道がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	非小細胞肺癌 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-1162※2 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全／Ifチャネル阻害作用	Ⅱ	錠	導入 (セルヴィエ社)
ONO-7057 /Carfilzomib	新有効成分	多発性骨髄腫 ／プロテアソーム阻害作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (オニキス社)
ONO-5163 /AMG-416	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 ／カルシウム受容体作動作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (アムジェン社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん／Rasシグナル阻害作用	Ⅰ	錠	導入 (カドモン社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	Ⅰ	注射	導入 (オンコセラピー社)
ONO-7268MX2※3	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	Ⅰ	注射	導入 (オンコセラピー社)
ONO-2160/CD	新有効成分	パーキンソン病 ／レボドパプロドドラッグ	Ⅰ	錠	自社

平成26年3月期第2四半期決算発表（平成25年11月5日）時点からの変更点

※1：抗PD-1抗体「ONO-4538」は、食道がんを対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

※2：Ifチャネル阻害剤「ONO-1162/Ivabradine」は、慢性心不全を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

※3：ペプチドワクチン「ONO-7268 MX2」は、肝細胞がんを対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

2. 国外開発品状況

<臨床試験中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	非小細胞肺がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	導出 (独メルク社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎 ／プロスタグランディンD2受容体拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-9054※1	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディン 受容体 (FP/EP3) 作動作用	Ⅱ	点眼	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	固形がん (トリプルネガティブ乳がん, 胃がん, 膵がん, 小細胞肺がん) ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I/Ⅱ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	血液がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	肝細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	C型肝炎 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7746	新有効成分	血小板減少症 ／トロンボポエチン受容体作動作用	I	カプセル	導入 (日産化学工業)
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	I	カプセル	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランディン受容体 (EP2/EP3) 作動作用	I	錠	自社
ONO-8539	新有効成分	胃食道逆流症／プロスタグランディン受容体 (EP1) 拮抗作用	I	錠	自社
ONO-1266	新有効成分	門脈圧亢進症／S1P受容体拮抗作用	I	カプセル	自社
ONO-4232	新有効成分	急性心不全／プロスタグランディン受容体 (EP4) 作動作用	I	注射	自社

平成26年3月期第2四半期決算発表 (平成25年11月5日) 時点からの変更点

※1: プロスタグランディン受容体 (FP/EP3) 作動薬「ONO-9054」は、緑内障・高眼圧症を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	117,847,500	117,847,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株
計	117,847,500	117,847,500	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日	—	117,847,500	—	17,358	—	17,002

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,822,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 105,906,300	1,059,063	—
単元未満株式	普通株式 118,300	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	117,847,500	—	—
総株主の議決権	—	1,059,063	—

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 小野薬品工業株式会社	大阪府中央区道修町 二丁目1番5号	11,822,900	—	11,822,900	10.03
計	—	11,822,900	—	11,822,900	10.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みとして、会計基準等の内容を適切に把握できる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入し、同機構の主催する研修に参加しております。

また、指定国際会計基準の任意適用に向けて、社内規定やマニュアルを整備するとともに、社内にプロジェクトチームを設置し、外部の専門家の助言も受けながら準備を進めております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,261	21,372
受取手形及び売掛金	37,822	47,590
有価証券	105,877	97,872
商品及び製品	16,094	17,314
仕掛品	4,122	3,829
原材料及び貯蔵品	3,192	3,225
その他	23,377	22,313
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	214,741	213,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,933	67,537
減価償却累計額	△45,153	△46,282
建物及び構築物（純額）	21,780	21,254
機械装置及び運搬具	16,545	16,351
減価償却累計額	△14,556	△14,645
機械装置及び運搬具（純額）	1,988	1,706
土地	23,479	23,481
建設仮勘定	1,437	4,199
その他	9,830	9,776
減価償却累計額	△8,886	△8,926
その他（純額）	943	849
有形固定資産合計	49,630	51,491
無形固定資産		
その他	1,383	2,870
無形固定資産合計	1,383	2,870
投資その他の資産		
投資有価証券	180,200	196,546
その他	9,624	9,381
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	189,817	205,920
固定資産合計	240,830	260,281
資産合計	455,572	473,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	4,744
1年内返済予定の長期借入金	101	100
未払法人税等	5,606	2,403
引当金	5,838	4,108
その他	9,996	15,171
流動負債合計	25,786	26,529
固定負債		
長期借入金	134	52
退職給付引当金	1,008	1,267
その他の引当金	98	101
資産除去債務	54	54
その他	5,198	10,745
固定負債合計	6,495	12,221
負債合計	32,281	38,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	430,824	430,137
自己株式	△59,214	△59,242
株主資本合計	406,048	405,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,451	34,319
繰延ヘッジ損益	—	40
土地再評価差額金	△8,577	△8,577
為替換算調整勘定	67	483
その他の包括利益累計額合計	13,940	26,266
少数株主持分	3,301	3,444
純資産合計	423,290	435,044
負債純資産合計	455,572	473,796

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	※ 112,369	※ 112,922
売上原価	※ 25,745	※ 26,575
売上総利益	86,623	86,346
販売費及び一般管理費		
研究開発費	32,412	36,204
その他	25,338	26,838
販売費及び一般管理費合計	57,750	63,042
営業利益	28,872	23,303
営業外収益		
受取利息	620	419
受取配当金	1,746	2,021
その他	444	929
営業外収益合計	2,810	3,370
営業外費用		
支払利息	1	5
寄付金	271	438
その他	107	135
営業外費用合計	379	580
経常利益	31,303	26,093
特別利益		
投資有価証券売却益	561	—
特別利益合計	561	—
特別損失		
投資有価証券評価損	290	—
特別損失合計	290	—
税金等調整前四半期純利益	31,575	26,093
法人税等	10,495	7,554
少数株主損益調整前四半期純利益	21,079	18,539
少数株主利益	137	143
四半期純利益	20,941	18,395

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,079	18,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,085	11,867
繰延ヘッジ損益	44	40
為替換算調整勘定	147	416
持分法適用会社に対する持分相当額	3	4
その他の包括利益合計	2,280	12,328
四半期包括利益	23,360	30,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,228	30,721
少数株主に係る四半期包括利益	132	146

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第3四半期連結会計期間より、新たに韓国小野薬品工業株式会社を設立したことにより、1社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※売上高及び売上原価に含まれる原薬中間体取引高は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
原薬中間体取引高	2,153百万円	1,498百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	2,057百万円	2,011百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	9,541	90	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	9,541	90	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	197円53銭	173円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	20,941	18,395
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	20,941	18,395
普通株式の期中平均株式数(株)	106,017,671	106,015,133

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第66期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当については、平成25年11月5日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- ①配当金の総額 9,542百万円
- ②1株当たりの金額 90円
- ③支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月2日

(注) ①配当金の総額については、持分法適用会社への配当金(当社持分は1百万円)を含んでおります。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月5日

小野薬品工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新 免 和 久 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 見 勝 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小野薬品工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小野薬品工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【会社名】	小野薬品工業株式会社
【英訳名】	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 相 良 暁
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	大阪市中央区道修町二丁目1番5号 (上記所在の場所は、登記簿上の本店所在地であり、事実上の本社業務は、大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号において行っております。)
【縦覧に供する場所】	小野薬品工業株式会社東京支社 (東京都千代田区神田須田町二丁目5番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 相良 暁は、当社の第66期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。